



..... ご 報 告

府中歴史教室 歴史ウォーク

5月7日、歴史ウォークが開催されました。今回初めて垂井駅を発着とし、垂井地区6箇所と府中地区13箇所を巡りました。



南宮御旅神社境内にて記念撮影←

参加者は、歴史文化部会メンバーによる説明に耳を傾け、美濃国府跡では古代、垂井宿では江戸時代とそれぞれの時代に思いを馳せました。

爽快な五月晴れの中、心地よい汗をかき、約3.5時間のコースを全員完歩しました。

いきいきふれあいサロン

5月9日、この日までの県内交通事故による死亡者数は20名、内16名が高齢者であることが報告され、参加者は真剣に耳を傾けました。



交通教室

府中駐在所の田口奨太巡查長は、反応速度を測定する2つの機器を持ち込み、参加者はハラハラドキドキ、ゲーム感覚で楽しみながら自分の俊敏性を確認しました。



垂井町交通指導員の桐山由美子さんと腹話術人形のあーちゃんによる、テンポのいい面白い会話に引き込まれ、参加者は楽しく交通ルールを学びました。



第1回まちづくり会議 5月15日

今回の議題は、6月から始まる「ウォーキングチャレンジ」と「ホタルまつり」について。

「ウォーキングチャレンジ」は地区住民の健康維持増進を目的とする新しい事業で、保健センターとタッグを組む点でも注目です！

抽選でプレゼントがもらえる特典付き！楽しみですね！

第1回青推員・地区長合同会議

5月21日、青推員・地区長合同会議が開催されました。今回は、夏の風物詩「ホタル観賞会」を知らせるのぼり旗を手描きで作成しました。



元気な文字や、カラフルなイラストでイベントを盛り上げます！



第1回まちづくり研修会 5月21日

今回のテーマは、「ごみ減量について」。始めに、役場 住民課 環境衛生係の職員が垂井町のごみの現状について説明されました。(内容については、次ページ「SDGsについて学ぼう⑦」をご覧ください)

ダンボールコンポスト講習会では、生ごみを上手に堆肥にするコツや活用方法などを学びました。参加者は、「環境活動に関心があるものの、何をすればいいかわからなかったけれど、これなら自分にもできるかなと思って参加しました。」と話されました。



⇒大垣市環境
市民会議
大谷 早苗さん



ホテル観賞会 令和4年6月中

時 間：20:00～21:00が見頃
場 所：梅谷・金地川ビオトープ周辺
内 容：たくさんの美しいホテルを観賞

第3回理事会 令和4年6月16日（木）

時 間：19:00～20:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：第2回まちづくり会議について

府中歴史教室 令和4年6月18日（土）

時 間：14:00～16:00
場 所：南宮大社
内 容：上月宮司の講話、宝物殿・境内見学

第2回まちづくり会議 令和4年6月19日（日）

時 間：19:00～20:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：自主防災リーダー育成講座について

第1回青少年育成協力推進員会議 令和4年6月25日（土）

時 間：19:30～20:30
場 所：府中地区まちづくりセンター
内 容：青推員・地区長合同研修会開催について

いきいきふれあいサロン

スクラッチアートを楽しもう

開催日：6月13日（月）
時 間：9:30～11:00
場 所：府中地区まちづくりセンター
参加料：100円

集学舎（子ども教室）

茶 道 教 室

開催日：6月18日（土）
時 間：9:30～11:30
場 所：府中地区まちづくりセンター
参加料：100円

6月の休館日

7日、14日、21日、28日
変更されることがあります。

一般教室／場所 府中地区まちづくりセンター

教室名	開催日	時間	参加料	持ち物
茶道作法教室	6月4日（土）	14:00～16:00	100円	懐紙（あれば）
英会話スクール	6月9日（木） 6月23日（木）	10:00～11:30	100円	筆記用具
ヨガ教室	6月10日（金）	14:00～15:30	無料	ヨガマット、タオル、飲料水
レコード コンサート	6月25日（土）	9:30～11:00	無料	筆記用具
フィットネス トレーニング	6月25日（土）	14:00～15:30	無料	室内シューズ、タオル、飲料水
パソコン教室	6月27日（月）	14:00～16:00	無料	パソコン、筆記用具

SDGsについて学ぼう！

ごみ問題② 住民課 環境衛生係 森川翔太さんの講演から抜粋して令和2年垂井町の現状について報告します。

垂井町のごみ総排出量 総計8,556t

可燃物 7,058t
不燃物 830t
資源物 668t

ごみ処理経費 約3億7千万円
資源化・リサイクル率 およそ9%

森川さんは、可燃ごみの内訳について、紙布類が48.9%と約半数を占めている現状に触れ、ごみ排出量やごみ処理経費を削減するため、資源化できるものはきちんと分別してリサイクルしましょうと呼びかけました。



わたしたちができることを考えよう！

3Rを意識して生活しよう！

Reduce (リデュース)：無駄なごみをなるべく少なくすること。

Reuse (リユース)：一度使った物を何度も使うこと。

Recycle (リサイクル)：使い終わった物を資源に戻して製品化すること。

私たち一人ひとりが3Rを意識することで、二酸化炭素排出量が削減でき、資源の枯渇問題の解決にもつながります。